

水道事業 決算 (地方公営企業)

飯山市水道事業(会計)の決算が、市議会9月定例会で認定されました。その概況をお知らせします。

平成20年度の概況

当年度の水道事業の業績は、営業収益のうち大半を占める給水による収益は、4億3,889万円で、前年度比約2.1%の減収となりました。これは景気の先行きの不透明感、景気後退が強まる状況で、工場等大口の使用、また家庭用の使用においても水道使用が抑えられたことから、水需要は減少している事が考えられます。

一方、水道事業における建設改良工事の状況は、平成26年度末に開業予定の北陸新幹線飯山駅の駅前周辺整備に関連した水道工事を本格的に開始した年度となりました。主には、駅前周辺の配水管布設替等の水道工事4工区で実施。また老朽管(石綿管)の布設替を2箇所で実施しました。他には、水道施設に関連した水位計、送水流量計、減圧弁等の更新工事等も行いました。(年度末企業債残高、28億4,000万円、前年度比7.4%減)

純利益は黒字を計上

このような状況の中20年度の水道事業会計は、黒字を計上することができました。主な要因は、営業収益のうち給水収益は前年度比2.1%減少しましたが、新幹線関連事業等に伴う受託工事収益や、新設給水装置申込による本管分担金等のその他営業収益が増加したことにより、営業収益・営業外収益を合計した収入は、4億8,541万円となりました。また営業および営業外費用を合計した支出は、

4億2,178万円となりました。この結果、当年度の純利益は6,363万円を計上することができました。この純利益は、資本的支出、すなわち地方公営企業債の償還資金や建設改良工事の財源となるものです。

「安全でおいしい水の安定的な供給」を

水道事業は、地方公営企業として常に企業の経済性を発揮しながら、飯山市第4次総合計画、後期基本計画に位置付けられている、「安全でおいしい水の安定的な供給」を実現するため、計画的に事業を実施し、経営の改善に努めます。引き続き、上水道のご利用をお願いします。

平成20年度 水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6,436戸
年度末の給水人口	1万8,219人
年間の総配水量	251万4,459m ³
1か月の平均配水量	20万9,538m ³
年間の有収水量	205万8,939m ³
1か月の平均有収水量	17万1,578m ³
有収率	81.9%
供給単価	213.17円
給水原価	199.49円

出産を予定する飯山市国民健康保険加入の皆さんへ

出産一時金の制度が変わります

飯山市国民健康保険被保険者の皆さんには、出産時に一時金を支給していますが、10月以降の出産から支払方法と限度額が変更になります。

主な変更点

- ①市役所への申請が原則不要となり、一時金は分娩機関(病院、助産施設等)への支払いに直接あてられます。
- ②支給限度額が38万円から42万円に引き上げられます。(産科医療補償制度未加入の分娩機関の限度額は39万円)

これにより手続きが簡略化されるとともに、支給限

度は、出産する分娩機関で「市

から分娩機関への直接支払い制度を利用する」旨を申し入れ、手続きしていただくこととなります。

このような方は市役所への手続きが必要です

- (1)分娩機関への直接支払いを希望しない方
：従来どおり被保険者に一時金が支給されます。
- (2)直接支払いを利用した場合で分娩費用が42万(39万)未満だった方
：限度額との差額が支給されます。

※(1)(2)どちらの場合も、分娩機関からの証明書を添えて市民環境課窓口で申請してください。

(3)直接支払いを受け付けない分娩機関を利用された方

：いったん分娩機関窓口で出産費用全額を支払ってから、市役所窓口で一時金の支給申請をしてください。

お問い合わせ

市民環境課 国保年金係
☎3111
内線153、154

市議会9月定例会から

9月1日に招集された市議会9月定例会は18日間の日程で審議が行われ、平成20年度一般会計・特別会計決算など、上程された34議案はすべて認定・可決されました。(20年度決算の内容は4〜8ページをご覧ください)

平成21年度補正予算案

一般会計の補正予算総額は、約2億2,300万円が増額され、これにより平成21年度一般会計の予算総額は139億4,954万円となりました。また特別会計は合計で2億8,431万円の増額となりました。主な補正の内容は次のとおりです。

- ▽JR駐車場等整備事業(266万円)：JR桑名川駅の公衆トイレ整備
- ▽地域生活支援事業(18万円)：障害者世帯への火災警報器の設置を給付種目に追加
- ▽飯山市戸狩農林業漁業体験実習館土地取得事業(2637万円)：トピアホール用地の取得
- ▽子育て応援特別手当給付事業(21年度版)(2415万

円)：就学前3カ年の全幼児に対し、3万6,000円の特別手当を給付

- ▽森林整備加速化・林業再生(学校木質化)事業(5075万円)：国の補助を活用し、城北中学校と常盤小学校の校舎木質化工事を実施

条例案 総数1件

▽飯山市国民健康保険条例の一部を改正する条例：児童福祉法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴う改正、及び出産育児一時金を本年10月1日から23年3月31日まで暫定措置として4万円引き上げるため、健康保険法施行令等の一部改正に伴う改正

事件案 総数3件

▽財産取得について：除雪機械の購入にあたり、議会の議決を求めるもの(ロータリー除雪車2017万1550円、契約の相手方：長野安全自動車株式会社)

- 人事案 総数2件(敬称略)
▽教育委員会委員

：田中妙子
▽固定資産評価審査委員会委員：山本 寛

損益計算書の要旨 (H20.4.1~H21.3.31) 単位:万円

科目(前年度比)	金額
営業収益 (0.6%増) … 収入	4億 6,378
給水収益 (2.1%減)	4億 3,889
受託工事・その他収益 (90.3%増)	2,489
営業費用 (2.0%増) … 支出	3億 2,884
原水及び浄水費 (2.0%減)	3,122
配水及び給水費 (8.2%減)	3,808
受託工事費 (186.9%増)	964
総係費 (6.3%増)	3,843
減価償却費 (0.6%減)	2億 553
その他 (122.5%増)	594
営業利益 (2.9%減) 【A】	1億 3,494
営業外収益 (5.9%増) … 収入	2,163
他会計補助金 (4.1%増)	1,357
その他 (8.9%増)	806
営業外費用 (13.3%減) … 支出	9,294
企業債利息 (14.4%減)	9,044
その他 (65.6%増)	250
営業外収益－営業外費用 【B】	△ 7,131
経常利益 (24.1%増) 【A－B】	6,363
当年度純利益	6,363

貸借対照表の要旨 (平成21年3月31日現在) 単位:万円

資産の部		負債・資本の部	
有形固定資産	56億 8,155	引当金 (修繕)	2,492
土地	7,179	固定負債合計	2,492
建物	3億 2,979	未払金	1,526
構築物	49億 4,124	その他流動負債	28
機械及び装置	3億 2,930	流動負債合計	1,554
車両及び運搬具	81	負債合計	4,046
工具器具及び備品	343	自己資本金	12億 3,817
建設仮勘定	519	借入資本金(※) (企業債)	28億 4,000
無形固定資産	12	資本金合計	40億 7,817
固定資産合計	56億 8,167	資本剰余金	17億 8,253
現金預金	2億 8,697	利益剰余金	1億 573
未収金	3,149	剰余金合計	18億 8,826
貯蔵品	666	資本合計	59億 6,643
その他流動資産	10	負債・資本合計	60億 689
流動資産合計	3億 2,522		
資産合計	60億 689		

※「借入資本金について」…一般企業においては、長期借入金等は固定負債として整理されますが、地方公営企業は、株式発行による自己資本金の調達という方法がなく、企業の実態資本をなす固定資産は企業債を財源とする場合が多いため、この実態資本に対応する資金源泉としての企業債を広義の資本と考え、借入資本金という独自の制度を設けて整理しています。